

通信 No.63

第19回「私の提言」

『働くことを軸とする安心社会一まもる・つなぐ・創り出す』の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと

入賞提言が決定

教育文化協会が、連合と共催で募集した、第19回「私の提言」には、27編の提言が寄せられました。ご応募ありがとうございました。

9月7日（水）に開催した運営委員会（委員長＝教育文化協会相原理事長）で、14名の運営委員による審査を行い、以下の4編の入賞提言を決定しました。

10月6日（木）開催の連合・第88回中央委員会で入賞提言を紹介するとともに、入賞者の受賞コメントを次ページに掲載しています。

今後、入賞提言を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布いたします。あわせて教育文化協会ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



▲連合中央委員会での入賞提言発表の様子

◆◆◆入賞提言◆◆◆

(敬称略)

優 秀 賞	前川 葵唯	一橋大学社会学部2年	「勤務地限定正社員制度」から、転勤制度の見直しを目指す — 一家庭と仕事を両立しながら働き続けることができる社会に向けて—
佳 作 賞	中村 猛利	連合滋賀 副事務局長	学生アルバイトの安心社会の実現に向けて — 一まもる・つなぐ・創り出す の各視点から—
奨 励 賞	岡 昭彦	電力総連 労働政策局次長	コロナ禍を契機とし見直される対面の価値と労働運動のあり方
学生特別賞	山本 智士	一橋大学社会学部2年	育児休業給付制度改善に関する提言 ～ 男性の育児休業取得率向上のために～

優秀賞



転勤制度の意義を再考してほしい

前川 葵唯

優秀賞に選出していただき、非常に嬉しく思います。

本提言は、「勤務地限定正社員制度」の普及を通して転勤制度の意義を再考してほしいという趣旨です。ライフイベントと転勤が重なると、様々な負担が労働者にのしかかることから、安心して働くためには、転勤制度の透明化が必要です。しかしながら、転勤に関して使用者側に大きな権限があることから、制度の透明化と適切な運用を進めるには労働者側が団結して企業に働きかけることが不可欠であると思ひ、本提言を執筆しました。

将来的に、育児・介護のみならず、自らの意志で自分の働き方を定めることができ、男女問わず様々な理由で転勤しない選択をすることが、昇給や出世への過度な足枷とならないような社会になることを望みます。

佳作賞



「働くことを軸とする安心社会」実現に向けた一助に

中村 猛利

この度は、大変名誉ある賞をいただき、光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。

今回の提言は、滋賀大学での連合滋賀寄付講座からヒントを得て、学生アルバイトに対し、連合が掲げる～まもる・つなぐ・創り出す～の3つのキーワードから提言したものです。本提言が連合に集う仲間の目にとまり、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた一助になれば幸いです。最後に、労働運動の道を共に歩んでいる働く仲間の皆様に心より感謝申し上げます。

奨励賞



提言執筆に関係するすべての方々に感謝

岡 昭彦

この度は、奨励賞を授与して頂き、光栄の極みです。

この栄誉は私個人のものでなく、提言の土台となったRengoアカデミーでの機会を頂いた電力総連、論文執筆において指導頂いた禹宗杭教授やゼミの皆様のお陰であり、また、調査に全面協力をいただいた北陸電力労働組合の組織をあげた取り組みのお陰であると実感しております。

関係するすべての方々に心から感謝し、今後とも労働運動に邁進していきたいと思ひます。この度はありがとうございました。

学生特別賞



男女平等社会の実現に向けた課題解決の一助に

山本 智士

この度は、「私の提言」学生特別賞を授与していただき誠にありがとうございます。

受賞の対象となった論文は、日本の育児休業給付制度の問題点を捉え直し、具体的な改善案を模索しようとしたものです。育児休業を取得する上で、休暇中の収入減少と家計への影響は性別役割分業意識と並んで高いハードルであり、男女平等社会を実現する上で避けられない課題だと考えています。本稿がその課題解決の一助となれたら嬉しいです。まだまだ未熟な学生ではありますが、より良い社会の実現に向けて自身にできることを模索していく所存です。改めまして、この度は本当にありがとうございました。

連合寄付講座の後期講義がスタート！ ～全国各地で開催中～

9～10月より、埼玉大学、法政大学、東京工業大学大学院で2022年度後期の「連合寄付講座」がスタートしました。埼玉大学は今年で16年目、法政大学は10年目、東京工業大学は4年目の開講となります（プログラムは下記・次ページ参照）。

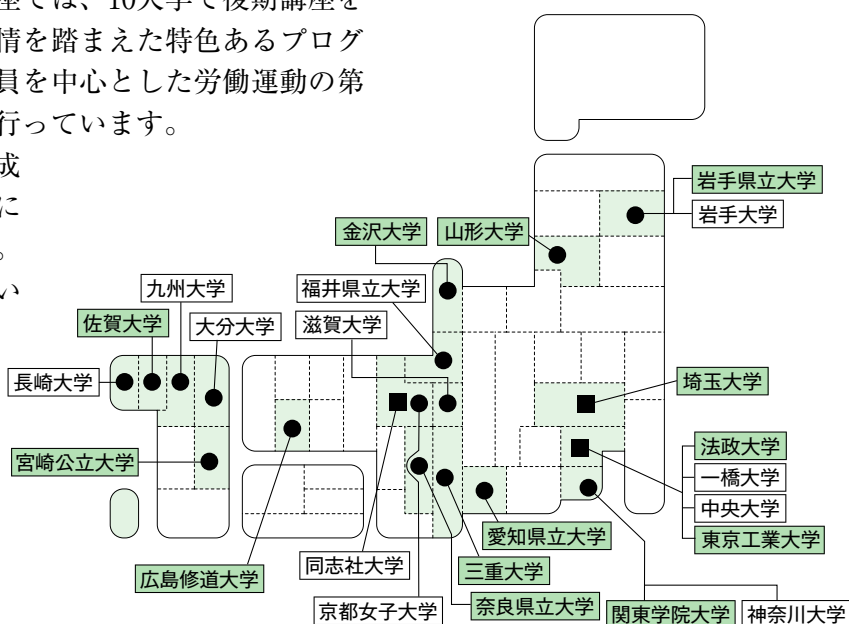
昨年度や今年度前期ではオンライン授業やオンデマンド配信を活用した授業となる大学もありましたが、後期は感染対策を講じながら対面授業で開講しています。

地方連合会主催の連合寄付講座では、10大学で後期講座を開講しており、各地域の労働事情を踏まえた特色あるプログラムが生まれ、地方連合会の役員を中心とした労働運動の第一線で活躍する講師陣が講義を行っています。

連合寄付講座は連合、連合構成組織、地方連合会のご協力なしには企画・運営できない事業です。今後も引き続きのご支援をお願いいたします。



▲法政大学寄付講座の様子



※網掛けは後期開講中

※■は教育文化協会主催の連合寄付講座

※神奈川大学は2022年度の開講見送り

※このほか、連合沖縄が沖縄大学で自主的に寄付講座を開講

2022年度東京工業大学大学院 連合寄附講義プログラム

『理工系学生のためのワークルール入門Ⅰ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	10/7	イントロダクション	西田 亮介 東京工業大学 准教授
2	10/14	労働組合の歴史と基礎	逢見 直人 連合顧問
3	10/21	今、働く現場で何が起きているのか —労働相談から見た雇用の現状—	内藤 靖博 連合総合運動推進局長
4	11/4	職場の声を集める（職場の課題改善に向けた取り組み）	松尾 剛志 富士通労働組合中央執行委員長
5	11/11	連合の雇用労働法制に関する取り組み	山脇 義光 連合労働法制局長
6	11/18	新しい働き方への対応	西野ゆかり 連合Wor-Qサポートセンター局長
7	11/25	課題提起 —「働くこと」について考える—	永井 浩 教育文化協会 専務理事

『理工系学生のためのワークルール入門Ⅱ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/9	イントロダクション	西田 亮介 東京工業大学 准教授
2	12/16	ワークルールを知る	本吉 真人 教育文化協会 ディレクター
3	12/23	仕事と生活の両立に向けた取り組み —長時間労働の是正に向けた取り組み—	筒井 友暁 JEC連合 日本触媒労働組合 中央執行委員長
4	1/6	働き方と賃金（企業における賃金決定のプロセス）	伊藤 彰英 基幹労連 事務局次長
5	1/20	労働組合と政治・政策	川島 千裕 連合 政治センター事務局長
6	1/27	教員による論点整理	西田 亮介 東京工業大学 准教授
8	2/3	修了講義（東工大の学生に期待することなど）	相原 康伸 教育文化協会 理事長

※講義時間は、金曜日13：45～15：25

2022年度法政大学 秋学期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/27	【オリエンテーション】労働組合とは何か	佐藤 厚 法政大学 教授 上西 充子 法政大学 教授
2	10/4	【開講の辞】 連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起①】 「働くこと」について考える～労働組合の役割と意義～	相原 康伸 教育文化協会理事長
3	10/11	【課題提起②】いま働く現場で何が起きているのか ～労働相談からみた若者雇用の現状～	山根木晴久 連合副事務局長
4	10/18	【ケーススタディ①】労働時間の短縮に向けた取り組み	大崎 真 電機連合中央執行委員 (安川電機労働組合)
5	10/25	【ケーススタディ②】労働組合の役割と組合役員の活動 ～現場の意見集約から職場の課題改善をめざす～	金堀 守男 生保労連中央副執行委員長 (明治安田生命労働組合)
6	11/1	【ケーススタディ③】 非正規労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	立花 正貴 伊藤ハム労働組合中央副執行委員長
7	11/8	【ケーススタディ④】 男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	下山 恵史 通建連合ミライト・ワン労働組合 中央書記長+若手職員
8	11/15	【ケーススタディ⑤】雇用と生活を守る取り組み	川野 英樹 J AM 副書記長+若手職員
9	11/22	【ケーススタディ⑥】 公務労働の現状と公共サービスの役割	榎本 朋子 自治労 総合企画総務局長
10	11/29	【課題への対応①】 労働者保護ルールの堅持・強化に向けた取り組み	村上 陽子 連合副事務局長+若手職員
11	12/6	【課題への対応②】 地域における政策・制度実現に向けた取り組み — 連合東京における取り組み —	斉藤 千秋 連合東京事務局長
12	12/13	【課題への対応③】 労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み	古賀 友晴 連合総合政策推進局労働条件局部長
13	12/20	【修了講義】連合運動の現在と未来 ～これから社会へ出る皆さんへ～	芳野 友子 連合会長 【コーディネーター】佐藤 厚 法政大学 教授
14	1/10	【論点整理】「働くということ」と労働組合	上西 充子 法政大学 教授

※講義時間は、火曜日15:00～16:40 ※役職は発行時点

2022年度埼玉大学 第4ターム「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/7	【開講の辞】 連合寄付講座において埼玉大学生に学んで欲しいこと 労働者を取り巻く現状と課題を知る — 労働組合が果たすべき役割とは	相原 康伸 教育文化協会理事長
2		労働相談から見た働く現場の現状と労働組合の取り組み	山根木晴久 連合副事務局長
3	12/14	労働組合をつくる	上本 俊之 連合東京 ユニオン東京 執行委員 川崎 憲治 ウェルパーク労働組合 中央執行委員長
4		組合員の処遇改善の取り組み	高須 玲衣 N T T労働組合 中央本部 交渉政策部
5	12/21	非正規雇用労働者の処遇改善をすすめる — 新型コロナウイルス感染拡大の影響と労働組合の取り組み —	講師調整中
6		仕事と生活の両立に向けた取り組み	林 典子 不二サッシユニオン 中央執行委員長
7		労働組合の政策活動	丹野 久 日教組 書記次長
8	1/11	多様な人材の活躍を促進する — 外国人労働者の組織化・処遇改善の事例を中心に —	香川 功 連合 近畿ブロックオルガナイザー
9	1/18	地域で雇用と生活を守る	平尾 幹雄 連合埼玉事務局長
10		教員による中間まとめ	禹 宗杭 埼玉大学教授
11	1/25	連合の賃金に関する取り組み	連合本部 総合政策推進局
12		労働者保護ルールの維持・強化に向けた取り組み	
13	2/1	国際労働運動の課題と対応	郷野 晶子 ILO理事(インダストリアル・グローバルユニオン日本加盟組織協議会事務局長)
14		【修了講義】 連合運動の現在と未来 —これから社会にでる皆さんへ—	連合本部
15	2/8	教員によるまとめ	禹 宗杭 埼玉大学教授

※講義時間は、水曜日15:00～16:20・16:30～17:50

Rengoアカデミー・第21回マスターコース

～18名が1年におよぶプログラムを修了～

「Rengoアカデミー・第21回マスターコース」の修了論文報告会と修了式を、9月27日（火）に連合会館で開催し、18名の修了生が、2021年11月の開講から約1年にわたるプログラムを修了しました。

修了論文報告会では、修了論文の要旨を発表し、最後にゼミ担当講師からコメントをいただきました。続く修了式では、相原理事長による主催者挨拶の後、Rengoアカデミー校長の連合・芳野会長からビデオメッセージをいただき、連合・清水事務局長より各自に修了証が手渡されました。その後、中村圭介教務委員長からの講評を受け、最後に、修了生を代表して梅崎ゼミの許 晃さんから謝辞が述べられました。

修了生の皆様のご活躍を祈念するとともに、受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝いたします。



▲修了式の様子

<Rengoアカデミー・第21回マスターコース修了生・修了論文一覧>

(敬称略)

ゼミ	所属・氏名	論文テーマ
禹	運輸労連 大原 猛	労働組合から見たフィジカルインターネット — 運輸産業の問題解決ツールとなり得るか、そのための組合の役割 —
	連合本部 金田 由佳	地方連合会の取り組みから見た男女平等参画 ～女性リーダーへのインタビューを中心に考える～
	情報労連 日下部和也	効果的な評価制度の運用に向けて — 組合員が自分を正当に主張できるようにするために —
	生保労連 濱仲 海	生命保険営業職員のエッセシャルワーカーとしての役割発揮 — 「心のインフラ」の重要性を考える —
梅崎	JAM 櫻井 竜義	職場の「声」を委員長は聞いているか — 労使コミュニケーションを3つの視点から洗い出す —
	労金連合会 許 晃	組合役員活動における魅力の発見 — 組合役員活動にハマリ続けるには？ —
	連合東京 和田 恵里	定年退職したら労働運動は終わりか — 組合活動から地域活動への展望、これからの連合運動とは —
木本	情報労連 伊藤 友明	有期契約社員の雇止めと働き方の実態について — 雇止めを繰り返す働き方に終止符を —
	運輸労連 喜勢 茜	「人が育ち続ける」現場の作り方 — 物流危機への新たな挑戦 —
	J P 労組 中西 望	J P 労組における男女共同参画の現状と課題 — 2021年「男女共同参画等の推進状況調査」の分析を通じて —
	連合東京 吉松 龍一	連合東京による大学寄付講座の意義と課題 — 学生に伝わる寄付講座の充実を目指して —
毛塚	JEC連合 石川 陽平	カーボンニュートラルと労働組合 — 我々はカーボンニュートラルにどう向き合うべきか —
	JAM 高田 謙	労働運動で社会を変えるには何をすべきか — 産業別労働組合の組織拡大について —
	日教組 竹田 篤史	なぜ組合の男女平等参画はすすまないのか — 専従女性執行委員の選出における阻害要因の解明とその解決策 —
橋元	電力総連 木村 堅	社会変容を踏まえた組合活動の展開 — 職場オルグと対話活動の実態から組合活動の方向性を考える —
	運輸労連 佐々木信行	男性の育児休業取得率向上に向けて — 男性の育児参加の現状と課題 —
	UAゼンセン 重松 寛子	働く仲間の生活を豊かにする政策を実現するために ～カスタマーハラスメント対策から考える～
	連合長野 竹村 進	飯田地域協議会が今やるべきこと — 地域での目に見える運動“地域人教育”を飯田地域協議会から発信する —

各受講生の修了論文の内容につきましては、修了論文集を発行し、会員組織に配布しています。あわせてホームページにも論文概要を掲載しておりますのでぜひご覧ください。

第22回Rengoアカデミー・マスターコースのご案内

Rengoアカデミー・マスターコースは、労働運動・社会運動の将来を担うリーダーの育成を目的に、年間をとおして、前期6日間、後期6日間の集中講義を基本に、必修ゼミもおこないながら、担当講師の指導のもと、修了論文をまとめて1年間で修了するプログラムです。

第22回は11月13日（日）より開講いたします。今年も各組織のご支援をいただき運営してまいります。

一定時総会・理事会を開催

教育文化協会は、2022年9月21日に联合会館において第10回定時総会を開催しました。定時総会では、2021年度（2021年7月1日～2022年6月30日）決算、役員報酬総額、役員の選任の3議案について提案され、いずれも提案通り承認されました。また、これに先立ち開催した同年6月20日の第42回理事会において、2022年度（2022年7月1日～2023年6月30日）事業計画・予算、特別寄附金の受領、役員報酬総額、30周年記念事業準備資金の積み立て、理事会運営規則の6議案が提案され、いずれも提案通り承認されました。

2022年度も引き続き、本協会の事業目的の達成に向けた取り組みを通じて、労働運動を担う人材育成、労働教育に対するニーズに応えるべく、各事業の質的充実に努めて参ります。

※2021年度事業報告・決算報告および2022年度事業計画・収支予算は、ホームページに掲載しています。

公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事（33名）

2022年9月21日時点

役職名	氏名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏名	所属団体・役職（職業）
理事長	相原 康伸	教育文化協会 理事長	理事	木村 敬一	私鉄総連 中央執行委員長
副理事長	清水 秀行	連合 事務局長	理事	伊藤 敏行	フード連合 会長
専務理事	永井 浩	教育文化協会 専務理事	理事	立川 博行	海員組合 政策局長
常務理事	村杉 直美	教育文化協会 常務理事	理事	園田 龍一	交通労連 中央執行委員長
常務理事	内藤 靖博	連合 総合運動推進局長	理事	芦川 和人	労金協会 常務理事
理事	八野 正一	U Aゼンセン 副会長	理事	濱田 毅司	こくみん共済 coop 常務理事
理事	並木 泰宗	自動車総連 事務局長	理事	新谷 信幸	連合総研 専務理事
理事	榎本 朋子	自治労 総合企画総務局長	理事	元林 稔博	国際労働財団 常務理事
理事	中澤 清孝	電機連合 書記長	理事	南部美智代	中央労福協 事務局長
理事	椎木 盛夫	J A M 副書記長	理事	細野 誠一	総評会館 専務理事
理事	網島 和彦	基幹労連 副執行委員長	理事	宮本 礼一	日本労働会館 代表理事
理事	石川 幸徳	J P 労組 中央執行委員長	理事	中村 圭介	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理事	山木 正博	日教組 書記長	理事	廣瀬真理子	放送大学 客員教授
理事	坂田 幸治	電力総連 会長	理事	伊丹謙太郎	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理事	北野 眞一	情報労連 書記長	理事	今野浩一郎	学習院大学 名誉教授
理事	難波 淳介	運輸労連 中央執行委員長	理事	藤田 親継	生協総研 専務理事
理事	酒向 清	J E C 連合 会長			

監事（3名）

役職名	氏名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏名	所属団体・役職（職業）
監事	小熊 栄	連合 総合企画局長 兼 総合総務財政局長	監事	砂金 良昭	日本労信協 代表理事
監事	勝田 年彦	生保労連 中央執行委員長			

顧問（6名）

役職名	氏名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏名	所属団体・役職（職業）
顧問	西村 寿紀	元 専務理事	顧問	古賀 申明	元 Rengoアカデミー校長
顧問	高木 剛	元 Rengoアカデミー校長	顧問	神津里季生	前 Rengoアカデミー校長
顧問	岡部 謙治	元 理事長	顧問	南雲 弘行	前 理事長

第10回定時総会にて次の役員が退任しました。

専務理事 木村 裕士 専務理事 安永 貴夫 理事 瀧本 司
理事 佐藤 憲仁 監事 松岡 衛 監事 度会 章仁
在任中ひとかたならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。

● 就任のご挨拶 ●



専務理事
永井 浩

この度、専務理事に就任いたしました永井浩です。

一昨年、日本労働文化財団との合併を機に教育文化協会の常務理事となり、主に連合大学院を担当してまいりました。

連合大学院は、2015年の開講以来すでに8期生を迎えており、皆様の多大なるご理解・ご協力に、この場をお借りして深甚からの感謝を申し上げます。

さて、教育文化協会の担う教育・文化活動は、度重なる新型コロナウイルス感染拡大の中で、引き続き試行錯誤を続けながらの運営となることが予想されます。

そのような中であっても、先輩方が築いてこられた礎を大切にしながら、より発展できますよう努力してまいりたいと思います。

皆様からの引き続きのご理解・ご協力を、切にお願いいたします。



常務理事
内藤 靖博

皆様、こんにちは。このたび常務理事に選任されました、連合本部総合運動推進局長の内藤と申します。出身産別は電力総連です。以後、よろしくお願いたします。総合運動推進局の「運動企画局」と「フェアワーク推進センター」の二つの局では、いま、「若者」をキーワードに運動を進めようとしています。若者の参画は労働運動の持続性可能性に関わる重要課題でありますし、教育文化協会の活動との親和性もあります。連合の活動と教育文化協会の活動が有機的につながり、両者がさらなる飛躍を遂げることができるよう、微力ながら尽力させていただきたいと思ひます。皆様のお力添えをいただきますよう何卒よろしくお願いたします。

● 退任のご挨拶 ●



前専務理事
木村 裕士

教育文化協会専務理事を退任するにあたり、一言で表現すれば「あー、おもしろかった」。

2011年から連合副事務局長との6年間の兼務を経て、2017年10月連合卒業と同時に協会事業に専念。日本労働文化財団の立ち上げ、連合大学院の設立準備、設立、そして運営、そして財団と当協会との統合、大学、大学院寄付講座の拡大、Rengoアカデミーマスターコース、幸せさがし文化展、論文募集事業など、学びながら、教養を高めながら、多くの人たちと出会い、楽しく過ごせました。一緒に働く仲間、上司、同僚に大変恵まれたのは本当に幸せでした。この場をお借りし、感謝申し上げます。最後に、働く場としても人材育成の場としてもお薦めですよ、ILECは。



前専務理事
安永 貴夫

教育文化協会と日本労働文化財団との合併に伴い、当面の間、専務理事2名体制で対応するということが就任させていただきましたが、南雲理事長、相原理事長のリーダーシップのもと、常勤の木村専務理事を中心に、スタッフの皆さんの献身的な努力のお陰で、円滑に運営することができました。皆様に感謝申し上げます。

私の役割としては、教育文化協会と連合構成組織の繋ぎ役であるとの認識の下で、各種会議等で参加を促してきましたが、残念ながら構成組織の関りについてはまだまだ濃淡があります。

今後におきましても側面からではありますが、各種事業に構成組織が積極的に参加いただけるよう努力してまいります。ご協力をお願いします。

「ワークルール検定2022・秋」のご案内

ワークルール検定は、働くときに必要な法律や決まりを身につけられる検定制度です。

いま、職場の環境が変わり、働き方も多様になって、身近なところでいろいろな問題が起こっています。

働く人にとっては、知識を身につけることによって自分や仲間を守ることができます。だれもが安心して働き続けられる職場をつくるために、この検定制度を大いに生かしてみませんか。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、本検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。

2022年11月27日（日）に開催される初級検定と中級検定の受

検申込を10月20日（木）まで受け付け中です。初級検定は、全国28会場で、中級検定は全国4会場で実施予定です。



ワークルール検定協会HP

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各会場では例年よりも定員を減らしてソーシャルディスタンスの確保を徹底し、受検中は窓を開放するなどの感染防止対策をいたします。当日はマスクの着用、手指の消毒、検温へのご協力をよろしくお願いいたします。

みなさまの挑戦をお待ちしております。

ワークルール検定 2022秋 厚生労働省 日本生産性本部

自分や仲間を守る、部下を守る、コンプライアンス～法令を守る！
正社員、派遣社員、パート、アルバイト、学生、そして管理職の方々まで、
どなたでも職場で役立つ法律知識を身につけられます！

▶検定日時 **11月27日(日)**
▶申込受付期間 **9月5日(月)～10月20日(木)** ※応募 定員に達した時点で終了

初級検定	中級検定
時間 11:00～11:45 (休憩時間10:15)	時間 13:30～14:50 (休憩時間12:50)
検定 45分	検定 80分
検定料 2,900円 (税込)	検定料 2,900円 (税込)

※申込先 北海道札幌市、北海道札幌市、秋田県秋田市、山形県山形市、宮城県仙台市、福島県福島市、群馬県高崎市、茨城県水戸市、栃木県宇都宮市、東京都中央区、山梨県山梨市、長野県長野市、新潟県新潟市、富山県富山市、石川県金沢市、福井県福井市、岐阜県岐阜市、静岡県静岡市、愛知県豊田市、三重県津市、滋賀県彦根市、和歌山県和歌山市、兵庫県神戸市、鳥取県鳥取市、徳島県徳島市、香川県高松市、愛媛県高松市、高知県高松市、福岡県福岡市、佐賀県佐賀市、熊本県熊本市、大分県大分市、宮崎県宮崎市、鹿児島県鹿児島市、沖縄県那覇市

※検定先 各会場での検定料の値引きは認められません。ワークルール検定 検定料 検定料に消費税をプラスして、検定料の総額にさせていただきます。この領収書を事前に受領してください。

※検定会場 各会場での検定料の値引きは認められません。ワークルール検定 検定料 検定料に消費税をプラスして、検定料の総額にさせていただきます。

中級検定4会場においては、初級と中級の同日受検が可能となりました。ただし、初級を受検せず、中級のみを受検はできません。詳しくはワークルール検定公式サイトまで <http://workrule-kentei.jp>

事務局より 退任・着任者からのご挨拶

□この3年間、お仕事をご一緒した皆様からは、本当にたくさんのご縁をずっと大切にできればと存じます。このILEC通信では、ひっそりと編集後記に登場する「ピー子」としても大変お世話になりました。引き続き産別の立場から労働運動に携わりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(篠原明穂ディレクター…生保労連へ帰任)

□生保労連からの派遣で、9月1日付で着任いたしました。これからILECの事務局として産別では経験できない様々な事業にて、産業の枠を超えたくさんの人と一緒に仕事をすることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

(中町友紀子ディレクター…生保労連より派遣)

編集後記

連合会館のあるお茶の水はカレーの聖地・神田神保町からも近く、今「神田カレーグランプリ」が実施されています。カレーが好物の私、より多くのお店を制覇したい！と「食欲の秋」が止まりません。
(まち子)